

未来の技術者を育てる ～未来創造高校で卒業設計コンペを応援～

「レトロな街小樽にふさわしい建物」小樽未来創造高校の卒業設計コンペのテーマです。色々な様式が混在する小樽の建築物…難しいテーマです。普段とは違う目線で小樽を見ないとはいけません。そこで予備知識を学んでもらう課外授業に講師として参加してきました。生徒と一緒に市内の歴史的建築物を見て歩いたり、景観や設計手法を教えたり、設計者を交えたディスカッションでは興味深く聞いてる生徒の顔が頼もしかったです。そして私も大変勉強になりました！

毎年2月にコンペの審査があるので授業の効果がどれほどか今から楽しみです♪

記：高井



Skogのいえをご存知ですか

今年10月、Skogのいえが松ヶ枝で竣工しました！

「Skog」とはスウェーデン語で森を意味します。

無垢の木の床をはじめとして、壁や天井、小さな部分にも自然素材を使い、細かなところまでこだわって仕上げました。

自然素材の持つ優しい風合いが癒しの空間を作り出します。

女性目線で使いやすい家事動線や収納を多く取り入れた空間など、こだわりのつまったお家をご提案致します。

思わず人を招きたくなるかわいい内装デザイン。

開放感のあるリビングスペース。

料理を楽しむカフェキッチン等Skogのいえには魅力がいっぱいです！

Skogのいえでゆったりとした時間を過ごしませんか。

ぜひお気軽にご相談ください。

記：高橋



西條文雪社長が藍綬褒章を受章

令和初となる「春の叙勲」で、弊社社長の西條が藍綬褒章の栄に浴しました。小樽に根差し70年。今回の受章は、多くのお客様、仕入れ先様、協力業者様に支えられ地域産業の振興に尽力してきたこと。さらには、長年にわたり副会頭として小樽商工会議所をけん引してきたことが評価されてのものです。

この場をお借りして、西條産業を支えてくださった方々に心から感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご愛顧をお願いし、謹んでご報告とさせていただきます。

専務取締役 東田明巳



編集後記

現編集委員会メンバーでは、今号が2冊目の発行です。私自身、入社から1年少々が経過したタイミングで西條の70年を振り返る企画を通し、この会社がいかに多くの方々に支えられて歴史を刻んできたのか。また、先人たちがどのような苦勞を重ねて、世の信頼を得てきたかを少なからず実感しました。今号の編集作業を振り返りながら、次の10年に向けて一日一日を大切に、より多くの人に頼られる企業を目指して頑張っていこうと決意した次第です。

記：小山

JOY vol.23

パートナーズ

発行日：令和元年12月吉日 編集・発行：西條産業株式会社



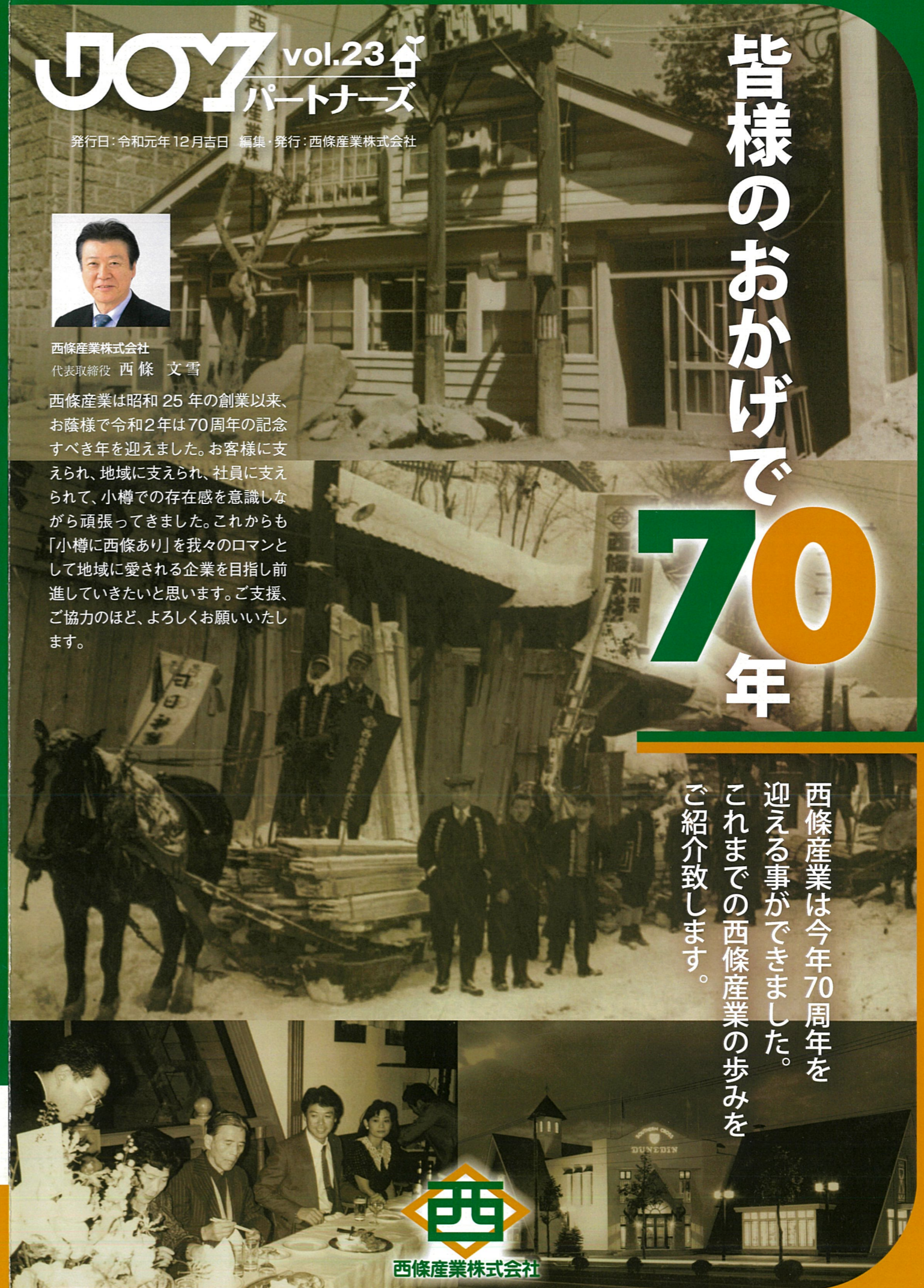
西條産業株式会社

代表取締役 西條 文雪

西條産業は昭和25年の創業以来、お蔭様で令和2年は70周年の記念すべき年を迎えました。お客様に支えられ、地域に支えられ、社員に支えられて、小樽での存在感を意識しながら頑張ってきました。これからも「小樽に西條あり」を我々のロマンとして地域に愛される企業を目指し前進していきたいと思っております。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

皆様のおかげで 70年

西條産業は今年70周年を迎える事ができました。これまでの西條産業の歩みをご紹介致します。



西條産業株式会社 ☎ 0134-25-5011

本社 / 小樽市有幌町2番16号 FAX 0134-34-1465

支店 / 札幌市東区北25条東9丁目2番6号 ☎ 011-751-0101・FAX 011-751-0104

<http://www.saijosangyo.co.jp/>

E-mail: mail@saijosangyo.co.jp



西條産業株式会社

西條産業株式会社 70年の歩み

商事部

昭和25年



創業当初の社屋
原木の販売から始め、
建築材や家具用製材など
も販売した。
(商事部の前身)

昭和30年代



輸出用の銘木合板を道内
で販売。また、規格外ベニ
アを木工場や家具工場に販
売。建材事業の始まり。
当時は馬車を使って配送。

昭和40年代

輸入製材の製造販売開始。
自社工場を完備し、貸挽き
から社内製材へシフト。
JAS認定工場を取得した。
青函トンネル工事への納入
などもこの頃。

昭和50年～60年代

ナショナル製品をはじめ様々な建材
メーカー商品を扱うようになる。内外
装工事も手掛けるようになった。
乾燥材の要求が増え築港に乾燥工場
を完備。S60代のトレンドを受け、サ
イディング工事も開始。

平成2年

築港に倉庫を新設し、資材の保管のほ
か、2×4パネルの製造開始。
(写真は現在のパネル工場、倉庫)



平成10年代



新工法の模索。3階建て物件に木造住宅
を、エンジニアウッドと新開発された金物
を採用し、建て方まで取組むJ工法の導入。

平成20年～現在



木材の特質を生かして、大型木造建築の分野
にも進出し、北大医学部の百年記念館の木工
事にも参画。
H30には築港にパネル工場を新設し、2×4パ
ネルの生産体制を拡大。

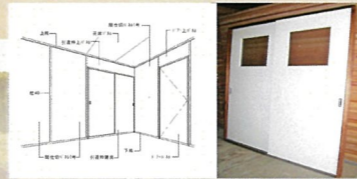
ハウス部

昭和30年代



札幌営業所を開設し、木材加工技術
を活かして北海道ハウスの製
造、販売を開始。(ハウス部の前身)

昭和40年代



プレハブ住宅における間仕切構造
に関する特許出願。
【パーツ間仕切】の製造を開始した。

昭和50年～60年代



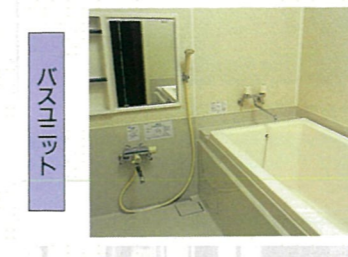
切妻型のルーフ部分をフラットへ。断熱、積
雪対策などが大きく前進し、北国にマッチす
る建物に進化した。

平成元年～



折り畳み式で運搬しやすいユニットハウス、
【シグマハウス】を開発、製造開始。
H7に商標登録完了。

平成10年～



シグマハウスにはユニットバス、
トイレユニットなどの快適なオプ
ションを実現。

平成20年～現在



北海道ハウスはより大型で、豪華なバリエ
ーションが増え、単なる仮設ではない高級感
ある建物としての受注が増加した。シグマは
移設可能な特注品を開発し、震災の復興現
場でも活躍。

建設部

昭和40年代



建築登録を行い、鉄骨
建築の請負工事開始。
(建設部の前身)

昭和50年～60年代



JOYハウスを販売開始。本格的な
木造住宅事業に参入。プレハブと
鉄骨建築技術から、一般住宅分野
への進出を図った。

平成元年～



JOYハウスの無暖房住宅
を提案し高気密高断熱
住宅へのシフト。H15に
は稲北ジョイタウン販売
開始。大規模公共工事の
企業体編成等、本格参
入した。

平成10年～



(写真は小樽警察署)

平成20年～現在



ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）
の販売を拡大。奥沢モデルハウスも好評の
うちに販売完了した。

この小樽で
人の暮らしと共に生きる
会社でありたい

昭和30年代

札幌営業所開設
北海道ハウス販売開始

昭和40年代

建築登録と請負事業開始
本社工場（鉄骨、パネル、製材）

昭和50年代

宅地建物取引業者登録
札幌営業所を支店にし発寒へ

昭和60年代

西條産業へ社名変更
レストラン「ダニーデン」開業

平成へ・・・

西條明男会長逝去
銭函工場新設シグマハウス製造

平成6年4月

西條ワークサービス設立
平成8年4月 道央工建に社名変更
(現・西菱工業)

平成10年代

本社を幌町に移転
ISO9001取得

平成20年代

札幌支店を
東区に移転

令和へ・・・

文雪社長が藍綬褒章を受章
令和の時代も、誠実に

昭和25年12月
西條明男が
西條木材産業を創立